

【教育目標】 豊かな心を持ち、自ら考えすすんで行動できる子どもを育てる

日根野小学校の現状

【良さ】

【課題】

- 落ち着いて学習に向かう
- 与えられたことができる
- 素直で思いやりがある

- 相手に興味や関心をもちにくい
- 自己主張することがむずかしい
- 自分で考えて行動することが苦手

【めざす姿】

- ★コロナ禍で制限された、子ども同士の伝え合う機会と経験を取り戻し、話すこと聞くことのスキルを向上する。
- ★将来に生きて働く力につなげるために、自主的に学ぶ姿、自主的に学び合う姿を実現する。



研究主題 「高めよう!伝える力! ~話し合い活動を通して"自主的で深い学び合い"の実現をめざして~」

3つのめざす子どもの姿 ①人とつながろうとする姿 ②本音で語ることができる姿 ③自分たちで作り上げる姿

教科の結果より

※数値は、本校の正答率 / 全国の正答率の割合で表しています。(一部除く)

○成果

●課題

- 国語 ○国語の授業の内容はよくわかると感じている児童の割合が高い。(質問紙 肯定的回答 86.1/86.3)
- 文章を書く問題では、無解答率が低く、書く意欲が見られる。(無解答率 2.2/4.9)
- 既習の漢字を文章の中で正しく使うことに課題がある。(38.8/43.4)
 - 文中における主語と述語の関係をとらえることに課題がある。(61.9/62.3)
 - 国語の勉強が好きという児童の割合が低い。(57.0/62.0)
- 算数 ○算数の授業の内容がよくわかると感じている児童の割合が高い。(質問紙 肯定的回答 86.1/82.1)
- 「数と計算」の領域の正答率が全国より上回っている。(75.6/66.0)
- グラフから必要な数値を読み取り、言葉と数を使って記述することに課題がある。(45.5/44.0)
 - 球の直径の長さで立方体の一辺の長さの関係を捉え、体積の求め方を式に表すことに課題がある。(34.3/36.5)

児童・生徒質問紙より

※数値は、本校の回答率 / 全国の回答率で表しています。

- 自分に良いところがあると回答している児童の割合が高い。(89.0/84.1)
- 人が困っているときに、進んで助けようとする児童の割合が低い。(82.5/92.7)
- 友達と考えを共有したりくらべやすくしたりするためにICT機器を活用できると考える児童の割合が低い。(73.7/86.1)

国語

- ・漢字の意味の理解を深め、習った漢字を使い、自分で文章を作る機会を増やす。
- ・書く場面と話す場面では、主語と述語を意識し、ていねいな言葉で話せるようにする。
- ・子ども自身が国語の学びや楽しさを実感できる授業づくりを進める。

算数

- ・自分の考えを書く時間を多く設定し、考えようとした過程や努力をほめる。
- ・問題の内容をよりイメージ化するために、絵や図を書いて場面を読み取る。
- ・文章問題では、問題文から立式したことを自分の言葉で説明できるようにする。

児童質問紙

- ・考えを交流する場面で ICT を活用し、協働的な学びの質を高める。
- ・授業や生活の中で、様々な児童と関わり合う機会を作り、つながりを深める。
- ・セカンドステップの授業を継続し、相手の気持ちを読み取るスキルを身に付ける